

親子で触れ合い、楽しむ
夏休みわくわくまつり

○子育て交流センター「おたのしみ会」



▲パネルシアターを楽しむ参加者

7月28日、かなみ知恵の和館で「夏休みわくわくまつり」が行われました。

子育て交流センターのメインイベント「おたのしみ会」は親子32組が参加し、読み聞かせグループ「玉手箱」さんによる絵本の読み聞かせや新聞紙シアター、パネルシアター、ウサギとカメの劇などが行われました。会場内では驚く声や笑い声が響き、親子で一緒に楽しみました。

○図書館「寄せ植え体験&英語で読み聞かせ」

図書館のメインイベント、田方農業高校の先生・生徒による「親子で楽しむ寄せ植え体験」には親子15組36人が参加し、マリーゴールドやサルビアなど5種類の苗を使って寄せ植えを体験しました。親子で協力して色鮮やかな鉢を作り、参加者は嬉しそうに持ち帰りました。

三島南高校の生徒による「おはなし会スペシャル〜英語で読み聞かせ〜」には20人が参加し、日本語と英語で絵本の読み聞かせや手遊びを行いました。親子で一緒に英語に親しみ、普段とは違った読み聞かせを楽しみました。



▲鉢に土を入れ、寄せ植えを完成させる参加者

来光川の水質を調べる
水生生物観察会



▲採集した生き物を確認する参加者

7月29日、上沢の観音橋付近の来光川中流域で、「水生生物観察会」が行われました。

同観察会には町内の小学4年生～小学6年生16人が参加し、魚やカニ、カゲロウなどの身近な川の生き物を採集したり、水質を調べたりしました。

参加した児童は、「川の中にこんなに生き物がいると思わなかった」、「見たことのない生き物ばかりだった」などの感想を話しながら採集に熱中しました。

Photo Gallery

町内には7店舗
セブン-イレブンと包括連携協定締結



▲協定書を掲げる大原伊豆地区マネジャー（右）、大川道の駅伊豆ゲートウェイ函南店長（中央）、仁科町長（左）

7月25日、函南町役場で（株）セブン-イレブン・ジャパンと「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。

同協定は、「高齢者支援に関すること」や「子育て支援および青少年の健全育成に関すること」、「防犯、安全・安心なまちづくりに関すること」、「環境対策、リサイクルに関すること」などについて町とセブン-イレブン・ジャパンが持つ資源を有効活用し、連携と協力をする事で町の活性化・住民サービスの向上を進めていく内容です。

ジオパークの魅力を発見
夏休み小学生ジオツアー

7月26日、「夏休み小学生ジオツアー」が行われ、21人が参加しました。

同イベントは、小学生にジオパークについて興味・関心を持ってもらうことを目的に行われ、ジオガイドと一緒に狩野川放水路や白鳥山、旭滝など近隣のジオサイトを巡り、現地でジオパークについて学習しました。

参加者からは「学校で勉強したジオポイントを実際に見ると迫力があつた」、「写真と実物では全然違う。見ることが出来て良かった」などの声が聞こえました。



▲狩野川放水路を見学する参加者

貴重な経験を生かして
カーマン市教育研修訪問団壮行会



▲代表で挨拶する斉藤いおりさん（右）と訪問団団員

7月28日、函南町役場で「2019年度カーマン市教育研修訪問団壮行会」が行われました。

34年前に、姉妹都市となったカーマン市。今回は、21回目の教育訪問となります。

訪問団は4月から事前学習会を重ね、7月28日～8月6日までの10日間の研修日程ではホームステイやカーマン市内見学などを行います。

訪問団の斉藤いおりさんは「たくさんの人の支えがあって研修を受けることができる。この貴重な経験を生かし、それぞれの目標達成のために精一杯学んできたい」と話してくれました。